

自民党の危機と日本政治

政策研究大学院大学教授
飯尾潤

- *裏金問題で露呈した岸田政権の迷走ぶり
- *なぜ政治資金が裏金化するのか
- *政治資金規正法について考える
- *岸田政権と安倍政権の違いは何か
- *粗略に過ぎる人口減少問題への対応
- *与野党とも変革できないことが危機の本質
- *いまだに続く政治家個人中心の選挙
- *問題は党機能の弱さにある
- *政界再編の可能性について
- *求められる政治の新しい姿とは



日暮 それでは時間になりましたので、開会したいと思います。（拍手）

理事長がちょっと熱を出しまして、今日はお休みをさせていただきましたので、私が代役をさせていただきます。

本日は、政策研究大学院大学教授の飯尾潤先生に来ていただきました。当倶楽部では、政治というと大体評論家かジャーナリストの方に目の先の政局について話していただくことが多いのですが、飯尾先生にはもう少し中長期の目線で日本の政治についてお話をいただいております。本日は、「自民党の危機と日本政治」ということでお話をいただくと思います。

それでは飯尾先生、よろしくお願ひいたします。（拍手）

裏金問題で露呈した岸田政権の迷走ぶり

飯尾 ご紹介いただきました飯尾でございます。毎年のようにお招きいただきましてありがとうございます。去年伺ったときには岸田さんの政権はあまりぱっとしないけれどもこれは何だという話をしまして、ご本人の性格からすると大きく化けるのも難しいが、なかなか粘られるのではないかといいことを申しましたところ、粘っておられるのは間違いないけれども、やっぱりうまくいかないということは続いているわけでございます。

ただ、そういう話はやむを得ずしておったのですけれども、そのときに、私が日本の政治制度とか、そういうことも専門にしているので、